

平成 30 年 11 月 28 日

学生・教職員 各位

学長 宮本 郁夫

平成 30 年度大学・短期大学部防災訓練実施について

1. 目的

巨大地震発生直後における本学学生・教職員の安全確保、災害対応体制の確認及び対応能力の向上を図る為。

- ※ 当日、訓練実施時間帯に授業を担当している教員（非常勤講師含む）は、受講している学生を避難場所であるグラウンドまで誘導する「誘導員」として参加するものとする。
- ※ 学生においては、災害発生時には、各自が自ら安全を確保せざるを得ない場面に遭うことを踏まえ、積極的な参加を要請する。
- ※ 当日は危険防止の為、動き易い履物の利用を通知する。（サンダル、ハイヒール等は控える。）
- ※ 貴重品等は各自で管理させる。

2. 実施日時

平成 30 年 12 月 12 日（水） 11：40～12：10

※雨天順延：12 月 19 日（水）

3. 訓練内容

（1）災害想定

発生時間：12 月 12 日（水） 11：40

発生規模：南海トラフ巨大地震による震度 5 弱の揺れが発生

（2）避難訓練（6 号館 1 階に危機対策支部の設置）

11：40 地震発生の校内放送後、2 分間はその場で身の安全確保

（シェイクアウト訓練の実施）

※その後、「誘導員」の指示に従い、階段で避難場所であるグラウンドに避難を開始する。

※避難後、避難者数の確認次第、災害対策支部への報告。

※併せて、安否確認システムの使用訓練を実施する。

・学生：UNIPA を利用

・教職員：学園安否確認システムを利用

12：10 総評（副学長）終了後、解散。